**Pioneer** sound.vision.soul

# S-VSL6C スピーカーシステム 取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
なお、「取扱説明書」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

## 安全に正しくお使いいただくために

### 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

## 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量は貴方の心がけ次第で大きくも小さくもなります。
とくに静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などには特に気を配りましょう。近所への音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

## キャビネットのお手入れ

通常は、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、化学ぞうきん等をお使いの場合は化学ぞうきん等に付属の注意事項をよくお読みください。

## ご使用の前に

● このスピーカーシステムの公称インピーダンスは、8Ω（オーム）です。負荷インピーダンスが 4～16Ωのステレオアンプ（スピーカー出力端子に 4～16Ωの表示があるもの）へ接続してお使いください。

△ スピーカーを過大入力による破損から守るため下記の注意事項をお守りください。

- 許容入力以上の入力をいれない。
- 本機を含むAV機器をアンプへ接続するときはアンプの電源をOFFにする。
- グラフィックイコライザーで高音を大幅に増強する場合、音量を上げ過ぎない。
- 小出力アンプで無理に大きな音を出さない（アンプの高調波歪が増え、スピーカーを破損することがある）。

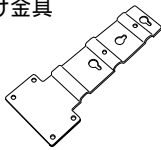
### [設置]

- 本機は壁に掛けて使用する場合以外は、スピーカースタンドと組合わせて使用してください。  注意
- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。  禁止
- テレビ、オーディオ機器等に本機を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。  注意
- スピーカーシステムのグリルは、取りはずすことができません。無理にはずそうとするとグリル破損の原因となることがありますのでおやめください。  禁止

### [使用方法]

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが 発熱し、火災の原因となることがあります。  禁止
- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。  禁止

**組み立て、取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故損傷については、当社は一切責任を負いません。**

## 付属品を確認してください

- ●スピーカースタンド
- ●取付け金具
- ●スピーカーコード
- ●安全ワイヤー
- ●すべり止め
- ●スピーカースタンド用パッキン(3種類)
- ●取付け金具用パッキン
- ●ネジ x 7
- ●ワッシャー x 2
- ● マジックテープ(オス凸) x 2
- ● マジックテープ(メス凹) x 2
- ● 取扱説明書
- ● 保証書
- ● ご相談窓口・修理窓口のご案内

## ステレオアンプとの接続

① ステレオアンプの電源プラグを抜いてください。

② スピーカーシステム裏面の入力端子とステレオアンプのスピーカー出力端子を付属のスピーカーコードで接続します。⊕端子は白ライン入りのコードで、⊖端子はライン無しコードでつなぎます。

1、被覆をはがして先端をまとめる。

2、ネジをゆるめ、コードを穴に差し込んでからネジをしめる。

■ **本機の入力端子はバナナプラグでの接続もできます。（横置きの場合のみ）**

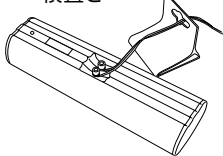
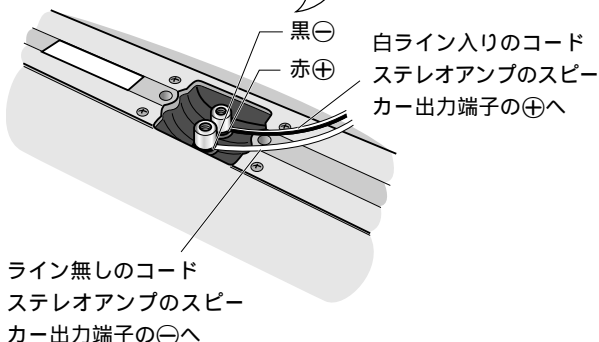
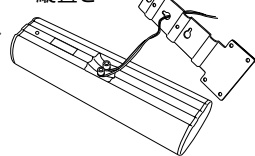
- 端子に接続した後コードを軽く引いて、コードの先端が端子へ確実に接続されていることを確かめてください。不完全な接続は、音がとぎれたり、雑音のでる原因となります。
- コードの芯線がはみ出して、芯線どうしがふれたりするとステレオアンプに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
- ステレオアンプに接続したときに、片方（右または左）のスピーカーシステムの極性（＋、－）を間違ってつないだ場合、正常なステレオ効果が得られなくなります。

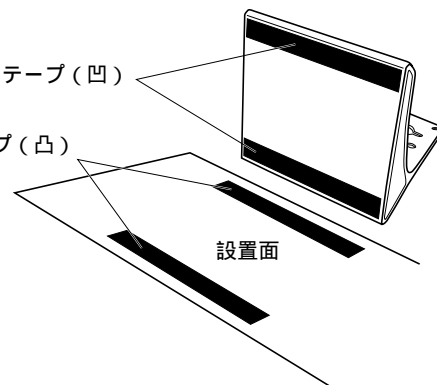
## ラックなどに設置する場合

### 準備

スピーカーをラックなどに設置する場合は、付属のすべり止めかマジックテープをご使用ください。
設置面によってはすべり止めの効果が不十分になる場合がありますので、すべりやすい場所には設置しないで下さい。

- **すべり止めの場合**

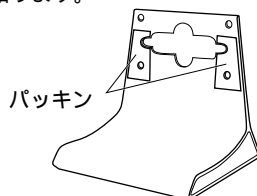
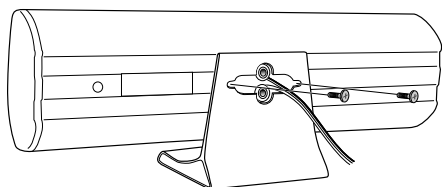
  すべり止めの4枚のはく離紙をはがし、スピーカースタンドの底面4カ所に貼り付けます。

- **マジックテープの場合**

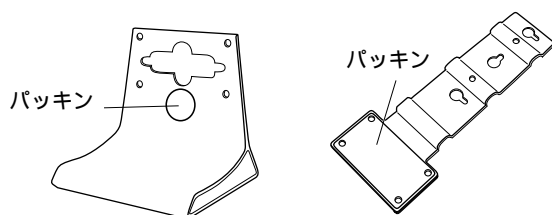
  1. マジックテープ（凹）の2枚のはく離紙をはがし、スピーカースタンドの底面2カ所に貼り付けます。
  2. マジックテープ（凸）の2枚のはく離紙をはがし、スピーカースタンドの底面に合わせて、設置面に貼り付けます。

## 組み立て

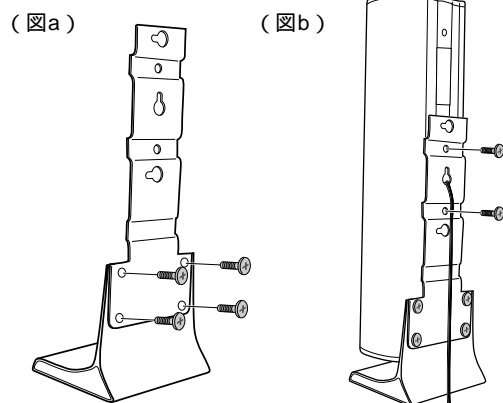
組み立てには中型のプラスドライバーが必要です。

**組み立ての前にスピーカーコードを結線してください。**

### 取付例1（横置き）

1、パッキンを貼ります。

2、スピーカースタンドを付属のネジ2本でスピーカーへ取付けます。

### 取付例2（縦置き）

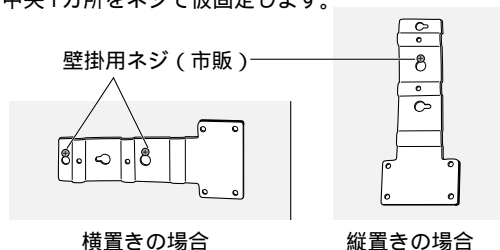
1、パッキンを貼ります。

2、付属の取付け金具とスピーカースタンドを付属のネジ4本で固定します（図a）。

3、取付け金具とスピーカーを付属のネジ2本でスピーカーへ取付けます（図b）。

**縦置きの場合は転倒しやすいので、特に設置場所に注意してください。**

## 壁に掛けて使う場合

- このスピーカーシステムには壁掛用の取付け金具がついています。壁掛用としてご使用になる場合は、落下などによる事故のないよう十分注意してください。
- 取付け前に壁などを調べ、スピーカーシステムの重量に十分耐える取付強度があることを確認してください。
- 強度等が不明の場合は、専門業者にご相談ください。
- 取付け金具を壁に取付けるためのネジは付属していません。柱や壁の強度や材質に合わせたものを使用してください。
- 垂直な面に取付けてください。傾いているとゆるんだりして、事故の危険があります。

1、あらかじめスピーカーの配置を縦横どちらにするか決めてから、壁の取付け位置に取付け金具を市販のネジで仮固定します。
横にするときは取付け金具の左右2カ所、縦にするときは中央1カ所をネジで仮固定します。

**横置きの場合**　**縦置きの場合**

2、ネジを少しゆるめ、取付け金具をはずします。

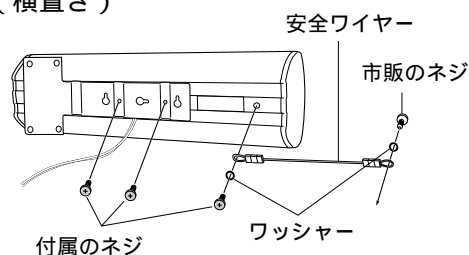
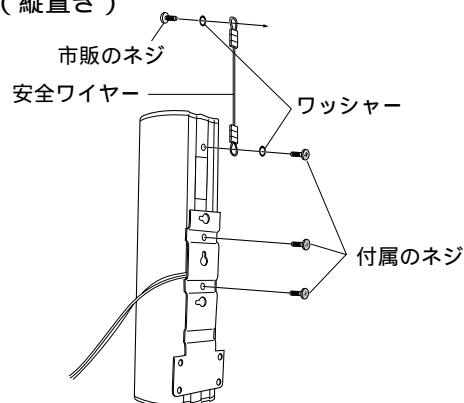
3、スピーカーにコードを結線してください。

4、スピーカーに安全ワイヤーを付属のネジ1本とワッシャー1個で取付けます。

5、スピーカーに取付け金具を付属のネジ2本で取付けます。

6、スピーカーに付けた安全ワイヤーを市販のネジと付属のワッシャーで壁に取付けます。

7、スピーカーを1、で付けたネジに合わせて壁に取付けます。

### 取付例1（横置き）

### 取付例2（縦置き）

## 仕様

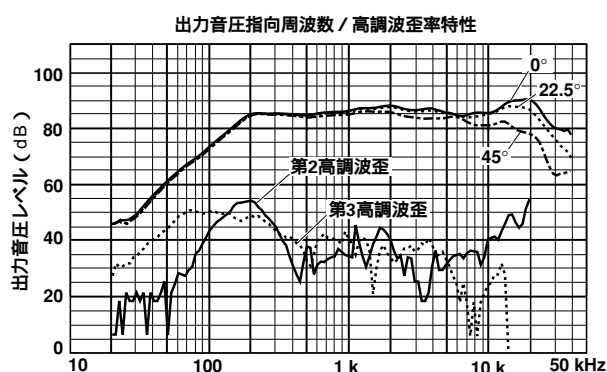
形式 ...................... 密閉式、ブックシェルフ型防磁設計(JEITA)
スピーカー構成 ...................... 2 ウェイ 方式
　ウーファー ...................... 8.3 cm コーン型 x 2
　トゥイーター ...................... 2 cm ドーム型
公称インピーダンス ...................... 8 Ω
再生周波数帯域 ...................... 90〜40,000 Hz
出力音圧レベル ...................... 86 dB/W(1m)
許容入力
　最大入力(JEITA) ...................... 130 W
クロスオーバー周波数 ...................... 4.0 kHz
外形寸法
　スピーカーのみ
　　横置き ...................... 350(幅) x 102(高) x 80(奥行) mm
　スピーカースタンド付き
　　横置き ...................... 350(幅) x 126(高) x 101(奥行) mm
　　縦置き ...................... 102(幅) x 385(高) x 103(奥行) mm
質量 ...................... 2.2 kg (1個)

## 付属品

スピーカースタンド ...................... 1
取付け金具 ...................... 1
スピーカーコード (7.0 m) ...................... 1
安全ワイヤー ...................... 1
すべり止め ...................... 1 (セット)
スピーカースタンド用パッキン (3種類) ...................... 1
取付け金具用パッキン ...................... 1
ネジ ...................... 7
ワッシャー ...................... 2
マジックテープ (オス凸) ...................... 2
マジックテープ (メス凹) ...................... 2
取扱説明書 ...................... 1
保証書 ...................... 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 ...................... 1

上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

## 出力音圧指向周波数特性／高調波歪率特性

## ご注意

- 防磁設計（JEITA）ですのでテレビやモニターと組合わせても色むらが起こりにくくなっています。まれに設置のしかたによっては色むらを生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15〜30分後再びスイッチを入れてください。その後も色むらが残るようでしたら、スピーカーをテレビから離してご使用ください。

### 豆知識

スピーカーシステムは、お客様の使用環境や使用状況により音質が変化していきます。購入直後より問題なくお使いいただけますが、音楽ソフトなどを数十時間再生の後に、スピーカーシステム本来の性能が引き出されます。

保証期間中（一年間）、および保証期間経過後の修理についてはお買い上げの販売店、または最寄りの当社サービスステーションにご相談ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。なお、本機の補修用性能部品の＊最低保有期間＊は、製造打切後８年間です。
＊この期間とは通商産業省の指導によるもので、補修用性能部品とは本機の性能を維持するために必要な部品です。

## お客様ご相談窓口( 全国共通フリーフォン )

### カスタマーサポートセンター

- 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞｼﾞｭｱﾙ製品のお問合わせ窓口　0070-800-8181-22
- カタログのご請求窓口　0070-800-8181-33

＜ご注意＞
- ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
- 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html*


パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒１丁目４番１号
<TFJZF/02I00000>　<SRA1396-A>